

船酔いしていた生徒もすっかり元気になり、全員毎日元気に船内生活を送っています。目の前に広がる広大な太平洋を前に、「すごい!」、「感動した!」、「景色がきれい!」などの声がたくさんあがっていました。1月23日には大事な実習の一つである防火操練が行われました。本科生にとっては初めての操練でしたが、乗組員や指導教官の指示の下、迅速な行動を行うことができました。もうすぐ操業実習が始まります。現在は操業実習に向け、作業の手順を学んだり、漁具の準備を行ったりしています。(野口先生より)



火災発生を想定して救命胴衣などを着用してデッキへ避難訓練。併せて火災発生時の注意事項について実習や学習を行いました。



退船が必要な場合に備えて救命いかだ等への乗込み手順や操作、注意事項などについて実習や学習を行いました。



通信長などから非常時に使用する救命器具や通信機器の取扱い方法や注意事項の説明を受けました。



空と海と雲しか見えない海の上ですが、たまにどこから来るのか海鳥が船に寄ってきます。



船尾のデッキで甲板長などから、マグロはえ縄漁で行う「投縄(とうなわ)」作業の手順やたくさんの注意事項を教えてください、真剣に聞いていました。



船首のデッキでは、数人の班に分かれて乗組員から「揚げ縄(あげなわ)」作業の手順や注意事項を教えてください、操業実習への期待が膨らんでいます。